

ここがポイント 紹介者がいた場合の記載例です。紹介者や結婚相談所による紹介だからといって審査上とくに不利になるという印象は経験上ありません。**出合いのきっかけよりも、むしろ出会ってからの交流の濃淡が重視**されます。

(2) 紹介者の有無などについて

無

有 (結婚相談所による紹介の場合は、氏名欄に会社名を記載して下さい。)

紹介者：国 籍：日本

氏 名：〇〇 〇〇 (男・**女**)

生年月日：XXXX 年 X 月 X 日

住 所：東京都〇〇区〇〇 X-X-XX

電話番号：XXX-XXXX-XXXX

外国人の方の場合は外国人登録番号⑨第 AB XXXXXXXXXX CD

紹介された年月日、場所および方法

年 月 日：XXXX 年 X 月 X 日

場 所：例：紹介者の自宅、〇〇市内のレストランなど

方 法：写真 電話 対面 E-mail
その他 ()

紹介者と申請人 (相手の方) との関係 (詳しく記載して下さい) :

別紙に記載しました

紹介者と配偶者 (あなた) との関係 (詳しく記載

別紙に記載しました

ここがポイント 二人の間に立った方が複数いる場合、文章だけではなかなか正確に伝わらないことがあります。このような場合、**別紙として関係図と説明文を提出する**方法もあります。なお、「詳しく」と繰り返し書かれていることからみて、入管の関心が高い質問と考えられます。

*紹介者との関係は、単に友人・知人と記載するのではなく、どのような関係か詳しく記載してください。

3 夫婦間の会話で使われている言語についてお尋ねします。

(1) 日常、ご夫婦の会話に使われている言葉 (例えば、中国語、日本語等) は何ですか。

例：日本語

(2) お互いの母 (国) 語は何ですか。

- ① 申請人 (お相手の方) 例：中国 語
- ② 配偶者 (あなた) 例：日本 語

ここがポイント 意思疎通がどの程度できるかは重要です。入管では、電話の通話時間や申請人からの手紙が日本語で書かれているかどうかも含めて調査します。ごくまれに、申請人に電話をかけることもあります。